

芭蕉元禄事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十八年六月度 入選句（投稿総数一八九二句・小中学投句数一三四五句）

特選

豆飯をたいてとねだる祖母の家 大垣市 矢橋 賢徳(小四)

祖母が炊いてくれる豆ご飯は、作者にとつて夏の格別な思い出なのでしょう。祖母の畑に実った豆の皮を一緒にむいている様子が目に浮かびます。家族のために豆ご飯の準備をする祖母の笑顔も明るく、ますます元気になりますね。祖母を中心とする家族の温かさや絆が、「たいてとねだる」の中七によく表れているすばらしい作品です。

母の日につたえられるかありがとう 大垣市 しみず ゆあ(小三)

五月の第二日曜日は、いろいろな方法でお母さんに感謝の気持ち伝えています。皆の心と同じようにある「ありがとう」ですが、どのように伝えるかは、一人一人ちがうでしょう。「つたえられるか」にこめられたゆあさんの「つたえよう」という決意や勇気が、母の日の温かさとなります。中七が生きている素敵なお作品です。

みたよりはすこしあまかつたさくらんぼ 大垣市 渡邊 ひかる(小四)

お店で買ったさくらんぼでしょうか。それともどこから贈られたさくらんぼでしょうか。ほんのり赤くてぴかぴか光るさくらんぼの味を想像しながら食べた瞬間の作者の感動が伝わってきます。少し赤くて少し甘かつたさくらんぼに笑顔も広がったことでしょう。うれしかった思いが素直に表現された作品です。

秀逸

夏風におどる葉っぱと涼む父 美濃加茂市 村瀬 光洋(中三)

はかまいりおじいちゃんへのありがとう 大垣市 沖田 優里(小五)

こいのぼり風がふくまでおひるねだ 大垣市 中井 大希(小二)

かきごおりみんなでくらべる舌の色 大垣市 かとう そ生(小二)

おいしいねじぶんでむいたまめごはん 大垣市 柳瀬 太紀(小二)

まがりかどはなをつまんだ栗の花 大垣市 野田 希愛(小三)

つばめのすわがやに家族がふえました 大垣市 林 あい菜(小四)

風鈴のやさしい音色で元氣出る 大垣市 鶴田 悠斗(小五)

しわのない制服にしみつくる汗 美濃加茂市 美濃輪 万心中(三)

梅雨入りに部活の足をすくわれる 美濃加茂市 加藤 駿弥(中三)

入選

菜種梅雨そつと涙を隠します	美濃加茂市	角谷	瑳月(中三)
散歩道一面広がる芝桜	美濃加茂市	山下	玲音(中三)
あたらしいかさをかたてにつゆをまつ	美濃加茂市	野原	仙舟(中二)
真っ青な空にお似合い雲の峰	美濃加茂市	野田	花(中二)
のびたいな竹の子みたく私の背	美濃加茂市	松岡	里音(中二)
ランドセル小さい体かくしてる	美濃加茂市	櫻井	唯菜(中二)
春一番くしやみと笑顔連れてくる	美濃加茂市	小島	花歩(中二)
風はこぶおはやしの音なつまつり	大垣市	西本	多恵(小五)
おはやしを聞いてこいたちおどり出し	大垣市	炭竈	凜奈(小四)
わかばかぜまつりの山がうごいたよ	大垣市	酒向	凜(小三)

入選

さくらもちわたしのほっぺとおなじ色	大垣市	大はら	あゆ(小二)
水えいでけんていどきどきうかるかな	大垣市	高田	りつや(小三)
こいのぼりきれいな空を一人じめ	大垣市	和田	結愛(小四)
たうえするよるに始まるむしのうた	大垣市	河合	智生(小四)
茶畑にすげがさたちがおよいでる	大垣市	小宅	穂之香(小四)
たんぼぼの笑顔が私の栄養だ	大垣市	樋口	実伶(小六)
春なのにひとりぼっちの綿毛かな	大垣市	後藤	希生(小六)
ありさんがあめをはこぶよちからもち	大垣市	花井	あやな(小二)
水たまり空にかかった虹映す	美濃加茂市	中満	佳菜子(中三)
カーネーション花と共に笑う母	美濃加茂市	松久	日和(中三)

選者吟

一粒の雨の色足す山法師

歌

佐